

かわる・つながる・ひろがる
中野駅

2026年に新しく
西口が誕生します

NAKANO STATION WESTGATE

中野駅西側南北通路
橋上駅舎等事業



NAKANANO STATION WEST GATE



中野の顔となる親しみのある外観
壁面や屋上を緑化し、部分的に木材を使用することで環境に
配慮した建物とします。シンプルな白を基調とした外観や、
壁面の分割により圧迫感のないデザインとし、周辺景観との
調和を図ります。

計画概要

工事名称	中野駅西側南北通路・橋上駅舎等事業
敷地面積	約7,700㎡
基準建蔽率	指定なし
基準容積率	572.78%(600%,400%) (商業地域、防火地域内、耐火建築物)
日影規制	なし

建物概要

用途	駅施設・物販店舗・飲食店舗
建築面積	約6,500㎡
延床面積	約18,500㎡
容積対象床面積	約18,300㎡
建蔽率	約85%
容積率	約238%
構造	S造(一部CFT造)
規模	地上5階、塔屋1階
軒高	約28.5m
建物高さ	約29.0m

かわる・つながる・ひろがる

新たな玄関口が誕生します。



明治22年(1889年)、現在の中野三丁目に開設された中野駅駅舎は、昭和3年(1928年)に大規模な掘り下げ工事を行い、現在の位置に移動しました。それから90年余りが経過した現在、中野駅はJR中央線・総武線の停車駅、東京メトロ東西線の始発駅となっており、交通アクセスに優れた中野区内外への玄関口を形成しています。本工事では、既存の中野駅南口・北口に加え、西側に新たな橋上駅舎と南北通路を建設するとともに、南北の駅前広場と一体的に整備することで、公共交通機関の利便性や歩行者の東西・南北方向の回遊性を確保します。これにより、これまでの中野のまちの強みを活かしながら、最先端の業務拠点、個性豊かな文化発信拠点、最高レベルの生活空間といった多彩な魅力を持ったまちの玄関口を目指します。



※イメージ図は想定であり、整備の段階で変更となる可能性があります。

より暮らし
やすく、
活気のある街へ。



「魅力ある中野の玄関口としてまちをつなぐ」ために、南北通路、橋上駅舎、駅ビルを一体的に整備します。



※イメージ図は想定であり、整備の段階で変更となる可能性があります。

交通結節機能の強化

中野のまちの内外をつなぐ「橋上駅舎」、駅周辺のまちとまちをつなぐ「南北通路」、地域生活の利便性を高め地域商業のさらなる発展に資する「駅ビル」。3つの機能を一体的に整備します。さらに、南北通路の両端に整備される駅前広場と接続することで、円滑な乗り換え機能を拡充します。

回遊性の向上

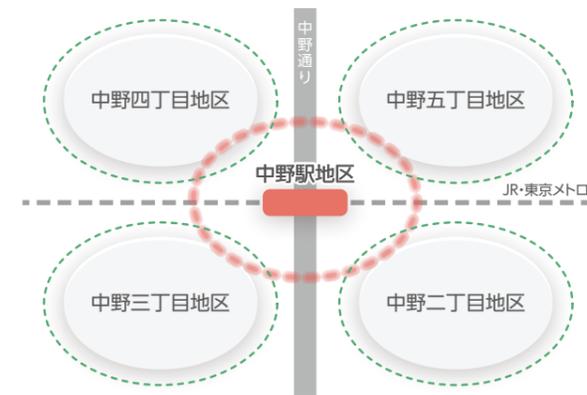
南北通路や橋上駅舎はユニバーサルデザインに配慮して南北の駅前広場と一体的に整備することで、中央線の南北の分断を解消し、安全快適な回遊ネットワークを形成します。この回遊ネットワークは、災害時には広域避難場所への避難路機能も担います。



地域商業の更なる発展

中野駅周辺のまちの中心との立地を生かし、地域生活の利便性を高めるサービス機能を導入し、中野駅周辺の各地区との調和を図ります。「駅ビル」と地元商店街との適切な役割分担のもと、地域商業のさらなる発展を目指します。

中野駅周辺のまちをつなぐ



先端的な都市機能と豊かなみどり(中野四丁目地区)
敷地が広く高容積な業務・商業系の集積と高規格な住宅、広大なオープンスペースを生かした防災機能や豊かな緑など、新たな都市空間を目指します。

文化的なにぎわいと暮らしの調和(中野三丁目地区)
橋上駅舎・南北通路につながる駅前広場と住宅地を結びつける文化的なにぎわいのまちなみを整備・誘導します。

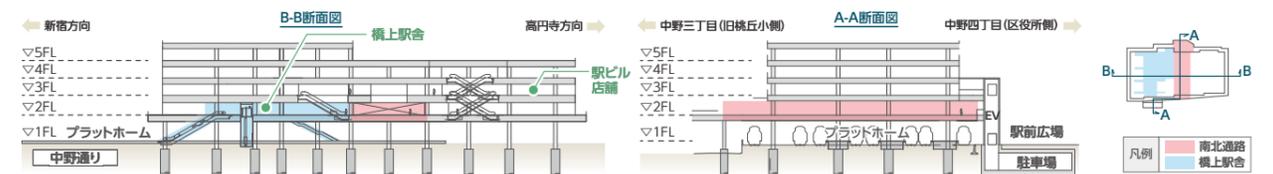
安心して楽しめるにぎわい空間(中野五丁目地区)
境界性のある商業集積の保持に配慮しつつ、公共空間の確保、防災機能の向上を図ります。

新たな業務・商業の集積と生活・コミュニティの核(中野二丁目地区)
市街地再開発とあわせて南口駅前広場の拡張整備を行い、地区全体の都市機能の改善を図ります。

Point 1

立体道路制度の活用

整備にあたっては「立体道路制度」を活用し、歩行者専用道路である「南北通路」と「橋上駅舎」、「駅ビル」を一体の建物として建設します。

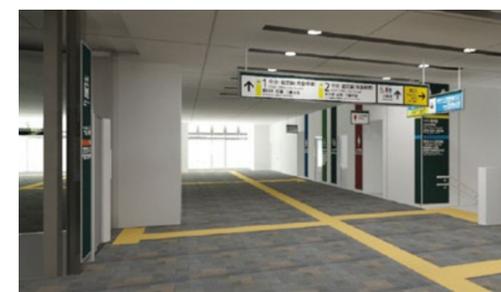


立体道路制度とは 建築基準法では、道路の上下に建物を建築することが原則的に出来ません。「立体道路制度」は、「市街地の環境の確保」「適切かつ合理的な土地利用の促進」「都市機能の増進」を図る上で特に必要な場合、道路の上下に建物を建築することを可能とする制度です。

Point 2

ユニバーサルデザインによる整備

新たに整備する南北通路に面した改札を設けます。また、エレベーター、多機能トイレを整備し、バリアフリーに配慮した駅舎をつくります。災害時は一時滞在場所としてコンコースを開放する予定です。



Point 3

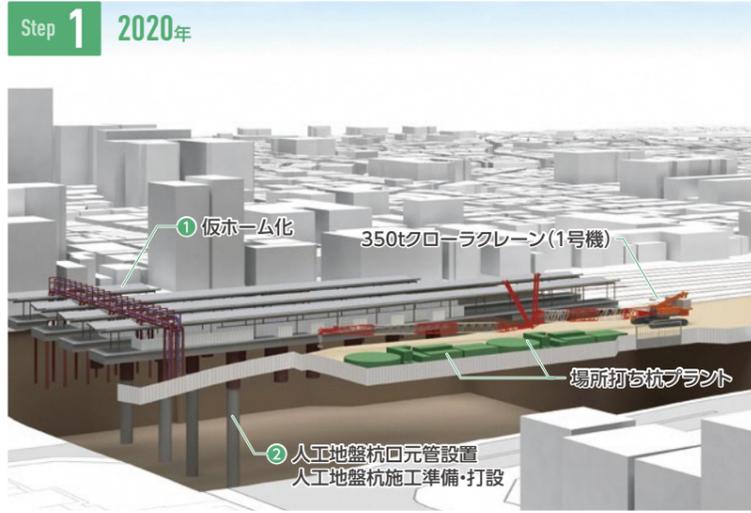
駅の機能や列車運行を確保した施工

新たに整備する南北通路や西口改札は、中野駅の線路上空に建設されます。現在、中野駅は1日約15万人のみなさまにご利用いただいております。駅利用者および列車運行の安全を確保するため、主な工事は駅の営業時間外である終電から始発までの夜間に実施します。

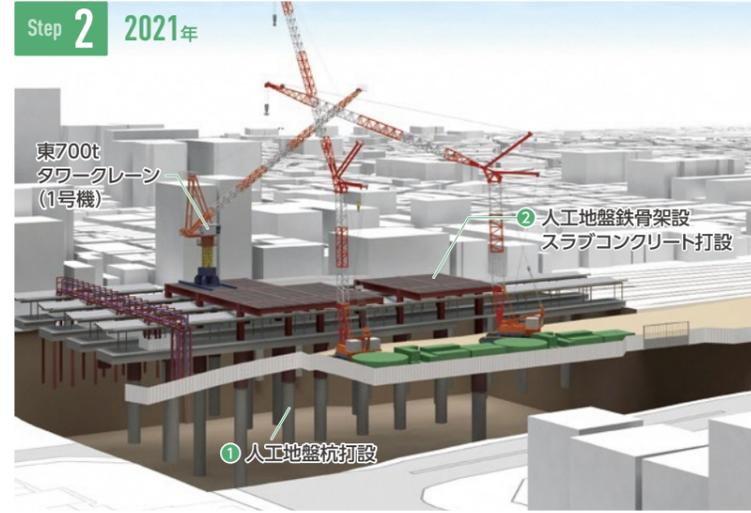
また、工事用の仮囲いの設置や工事車両の出入りでは、自動音声や回転灯、誘導員の配置等により駅や駅周辺の工事中の安全を確保します。



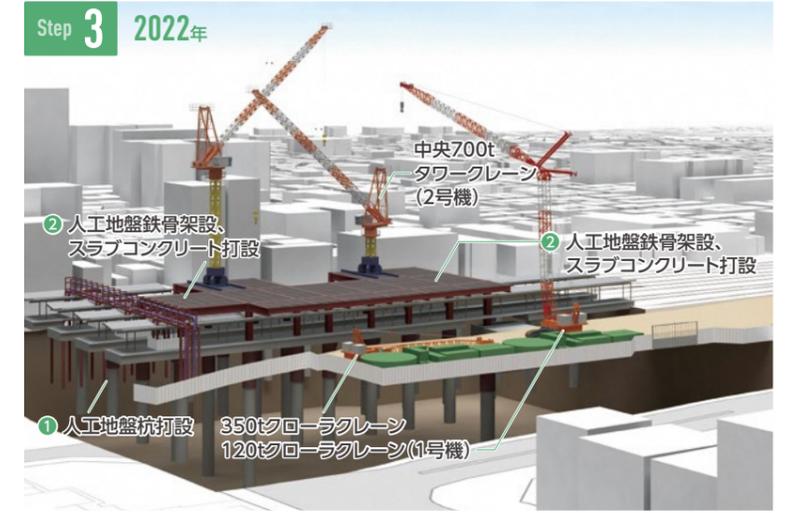
工事の進め方



- 1 仮ホーム化
- 2 人工地盤杭元管設置
人工地盤杭施工準備・打設



- 1 人工地盤杭打設
- 2 人工地盤鉄骨架設
スラブコンクリート打設



- 1 人工地盤杭打設
- 2 人工地盤鉄骨架設
スラブコンクリート打設



- 1 駅舎部分3階以上鉄骨架設
- 2 人工地盤鉄骨架設
スラブコンクリート打設
- 3 外装工事
- 4 駐車場棟施工箇所杭打設



- 1 南北通路・駅舎内装・設備工事
- 2 駅ビル鉄骨架設、躯体、外装工事
- 3 駐車場棟施工箇所掘削



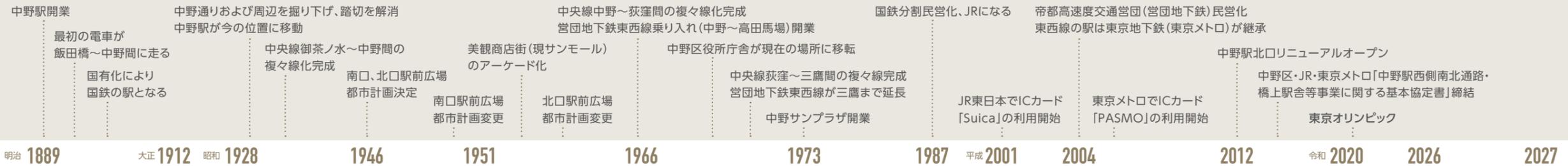
- 1 南北通路・駅舎内装・設備工事
- 2 駅ビル内装・設備工事
- 3 駐車場棟躯体構築

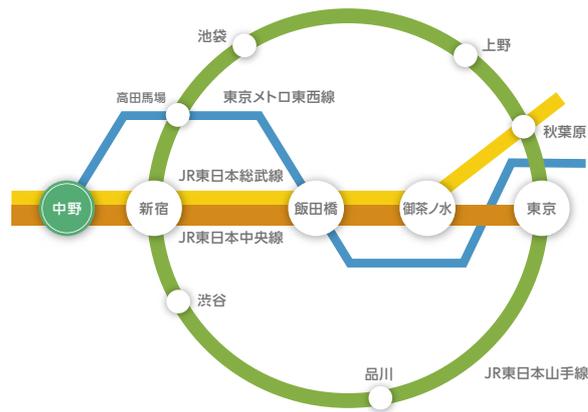
※イメージ図は想定であり、整備の段階で変更となる可能性があります。

HISTORY

中野駅のあゆみ

1889年に開設された中野駅。古くから周辺地域の結節点として、まちの賑わいの中心でした。拡張や移転を繰り返し、人々の暮らしを支えながら、現在の姿となりました。





中野駅 西側南北通路 橋上駅舎等事業

事業者 中野区
東日本旅客鉄道株式会社
東京地下鉄株式会社

施工者 鹿島建設株式会社

発行年月 2019年12月



中野大好き
ナカノさん
中野に憧れて
中野にやってきた
人形です。
©中野区